

## 会議等結果報告書

会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	9 8
		決裁期日	平成 2 8 年 6 月 2 4 日
名 称	第 1 回上富良野町協働のまちづくり推進委員会		
日 時	平成 2 8 年 6 月 2 3 日（木） 午後 6 時 1 5 分～午後 8 時 0 0 分		
場 所	社会福祉総合センターかみん 2階研修室		
出席者	協働のまちづくり推進委員 1 4 人（別紙名簿のとおり） 向山町長 事務局：町民生活課 鈴木課長、自治推進班 野寺主幹、大串主事 説明員：ジオパーク推進・地域活性化室 佐藤室長 合計 1 9 名		

[進行：事務局（町民生活課長）]

### ◎委嘱状交付

向山町長から、委員 1 4 名に委嘱状を交付。（欠席の委員 1 名については後日交付）

### ◎町長あいさつ

大変ご多忙のところ、28年度第一回の協働のまちづくり推進委員会に参加いただきお礼申し上げます。協働のまちづくりの基本となる自治基本条例については平成21年に策定され、併せてこの委員会を発足し、これまで3期に渡り委員の方から様々なご意見をいただいている。今回会議から4期目となり、改めて委員の皆様にご協力をお願いする。

近年社会の価値観が多様化し、住民の要望・意見をくみ取るのが難しくなっている。しかし、その要望・意見をはっきりとさせないとこれからの町の施策は上手く機能していかない。そのため、この会議で委員の方に住民としての意見を出していただき、この会で出てきた意見等をたたき台として町の施策をつくっていきたい。皆様の忌憚のない意見をいただけるよう、よろしく願います。

※用務の為、あいさつ終了後町長退席

### ◎自己紹介

各委員から自己紹介を行う。また、事務局の職員を紹介。

## 1 報 告

昨年度までの取り組み内容について … 資料 1 ～ 3

上富良野自治基本条例

協働のまちづくり基本指針

## 上富良野町自治基本条例見直しに関する提言書

### 協働のまちづくり基本指針「協働を推進する方策」の取組状況及び評価

事務局（野寺主幹）から資料1～3にを基にこれまでの経過を一括で説明。

菊池哲雄委員：初期の頃に協働の三原則と言われた「自助・共助・公助」の他に最近では「互助」「近助」と言った言葉も出てきているので、次回自治基本条例の見直しの際に検討が必要だと思う。

## 2 議 題

### ① 会長及び副会長の選出について

事務局（町民生活課長）： 要綱第4条（資料4参照）により会長、副会長の選出について説明。委員から事務局に提案を求められたため、事務局から会長に上富良野町生活安全推進協議会の稲毛保夫氏、副会長に上富良野町体育協会の北孝吉氏を提案。全会の拍手で承認を受け、以降の議事進行を稲毛会長が引き継いだ。

### ② 今年度の予定について

- ①住民自治活動推進交付金について
- ②住民自治活動奨励事業補助金について
- ③まちづくり活動助成事業補助金について

事務局（野寺主幹）より資料4～7に基づき一括で説明。また、事務局で提案した事項以外に今後委員の方から協議したい事項があれば、提案いただきたい。

町民生活課長補足：今回については2回目の会議以降に協議していく項目の概略の説明となる。複数ある項目をまとめて一度に話し合うのではなく、次回以降、一つひとつ項目ごとに話し合っていくこととなるのでよろしく願いたい。

質疑等なし

### ④十勝岳ジオパークの取り組みについて

ジオパーク推進・地域活性化室佐藤室長より資料8に基づき説明。

質疑等

菊池敏朗委員：町民自身のジオの盛り上がりが必要と言われたが、ジオの盛り上がりとは具体的にどの様なことを指すのか。また、町民のジオに関する取組に対して、町で予算を持ち、補助してもらうことは出来るのか。

佐藤室長：町民の方々が普段行っていることの中には、意識していないだけですでに「ジオの取り組み」と言えるものもある。町民の視点変更を促し、自分たちの活動を「ジオの取り組み」と意識し、その活動に町民が寄り添っていけるようにしていきたい。

予算については、ジオの推進については行政がするものではないため、町として「ジオの取り組みだから」という理由で補助をすることはできない。そのため、現時点では特に町で予算を組み補助することは考えていない。ご理解いただきたい。

持安委員：ジオに関して、町民が同じ目標に向かって取り組んでいくための方策が必要にな

ってくるのではないかと。また、その方策についてこの委員会で議題にし、話し合っていく必要があるのではないかと。

佐藤室長：ジオに関しては目標や意図がわかりにくく、取り組んだことに対しての効果が目に見えてわかるものではないため取り組みに繋がりにくいという部分はある。また、町民が望む効果とジオパーク認定に必要な項目が一致しない部分もある。いずれにしても、これから話し合っていく中で、できるだけ目に見える形で目標や効果などを提示できるようにしていきたい。

菊池哲雄委員：上富良野と美瑛の間に分水嶺があるが、そこはジオの注目ポイントにはできないのか。

佐藤室長：上富良野と美瑛の分水嶺は大正火口の付近にあり、そこを境に美瑛と上富良野とで水系・地形とも分かれていることもあり、重要な部分だと思う。

森本委員：先の質疑ですすでにある活動をジオ活動として寄り添っていくと言っていたが、具体的にはどういった行動をしていくべきなのか。

佐藤室長：たとえば森本委員は書道教室をされているが、山や丘をを意識するような文言を題材にすることもあると思う。ジオには自然資源を題材とした教育も含まれるため、これもジオの取組みと言える。実際に他の市町村で自然資源を題材とした教育の取り組みは行われている。今既に取り組んでいることの中にジオの話を含めてもらうだけで、十分ジオ活動になる。今の状態から視点を少し変えて、「この活動もジオなんだ」と意識してもらうことが実際のジオ活動に繋がっていくと考えている。料理などでも、町の自然からとれたものを材料として使ったり、山から湧き出る水を利用するなど視点を変えればジオ活動になっていく。新しく活動をしていくというよりも、自分たちのやっていることを少しずつジオ活動に切り替えていくような意識づけをお願いしたい。

### 3 その他

#### ①国内交流実行委員会について

事務局（鈴木課長）：来年度に上富良野町開基120年並びに三重県津市との友好都市提携が20周年を迎えることから、20周年事業等を行うための準備として今年度から国内交流実行委員会を立ち上げたいと考えている。協働のまちづくり推進委員会からも実行委員として、一名お願いをしたい。事務局案として、稲毛会長に実行委員となっただけのようをお願いしたい。

（全会の拍手により承認）

#### ②次回会議について

次回会議については 7月27日（水）19時～ 役場3階第2会議室を予定。